

月出周辺の桜もやつと満開。天候不順ながら春本番の下の句会になりました。出席者十四名、投句者七名、小学生八名の参加を頂きました。題「細かい」に皆さんの年相応の実感のこもった句が揃って感心しました。来月の句会は、

四月の句会：四月二十八日（日）午前十時～十一時四十五分 集会所

題：「智恵・知恵」

三月の句会から。「細かい」

* 裁縫も四苦八苦する糸通し

和博

（目の衰え、指先の震えと老いるにつれて針の糸通しが最難関。腹が立って途中で諦めた等のコメントも飛び出し、四苦八苦の老いの実感を上手く句に仕立てて頂きました。和博さんのズボンの裾上げの苦勞が窺えます。句会の年齢構成推して知るべし、最多共感句になりました。）

* 細やかな気遣い嬉し友がいる

せいこ

（しんみりとした姿の良い句です。病氣した折りに、友の励ましの心遣いが本当に嬉しく身に染みたとのコメントもありました。友来る美味しい酒をぶら下げて などの句もあり、連れ合いには迷惑な友と取られるかもしれませんが、友は人生のスパイスです。右の句と並んで最多共感句。）

* 元気です細かい音も文字も見え

まさひろ

（元氣だと宣言されました。目も耳も達者なら、まだまだ余生はバラ色ですよ。私はダメ。お月さんは二重に見えておぼろ月、声は聞こえるけど意味不明。お笑い番組も笑えないので直ぐにスイッチオフ。）

* 校則がスカート丈に口を出す

六郎

（昔は服の乱れは心の乱れなどと言われたものですが、これも一理あり。一方で厳しい校則は、個性の発露を抑えることにもつながります。校長先生も頭が痛い問題でしょう。まあ爺さんにとっては、ロングより短かめのスカートが魅力的ですね。ただし娘さんたちに限り。）

* 日記帳本音は敢えて細かい字

伸子

（敢えてと書かれたところから、空想が広がりました。日記といえども、本音を吐露するには、はばかれるところあります。作者の気持ちは、我が娘への気遣いとのこと。意味深長な句をいただきました。）

* 見落とせと初回限りの注意書き

隆子

（まんまと悪意の策に乗ってしまったと作者の警告の句。故意に極小の字で書かれた注意書「初回限り」を見落とされたばかりに、勝手に送られてきた二回目の品を受け取って高額の代金を支払ったとのこと。大変でしたね。紅麴の問題もあり安易にCMののっけはいけませんね。）

* 大ゲンカ細かな事で老夫婦

展行

(まあ夫婦喧嘩は犬も食わぬと言いますからね。夫婦喧嘩もボケ防止。)

* 割飲みで一円までも入れてくる

てるみ

(一読したときは、せこい割り勘だなあと思ったのですが、成程キャッシュレスのカード支払いならば一円単位の支払いも簡単ですね。時代の変化に追い付けません。)

* 政治家の細かい事も秘書まかせ

まゆみ

(かつて海軍大將だった西郷従道は部下に対して、『佳きに致せ。責任は全ておいどんが取る』と言ったとか。それに比べて今の政治家は真逆のトカゲばかり。自分の保身ばかりで、部下が責任から自殺に追い込まれても知らぬ顔。なっとらん。)

* 年度末監査ドキドキ細部まで

蓼

(蓼さんのドキドキは会計報告の煩雑さに対するものでしょう。書類作成も初回の体験は大変ですものね。校区の民生委員のまとめご苦労さんです。お世話になります。)

* 義母好物細かくきざんだお漬物

遊位子

(私も漬物好きですが、たくあん漬は細かく刻まないと難儀します。ひと手間かけることも親孝行ですよ。昔の村の茶のみ会は、自慢の漬物のオンパレードでした。それにしても若い世代は漬物を食べるのかなあ。)

* 義母は言う細かいことを来るたびに

早苗

(鍋底の洗い方から主婦のイロハを教えてくれたお姑さんに今でも感謝しているとのこと。この教えは次の世代にも引き継がれるでしょう。)

* 友からの細かい気持ちありがたい

しずこ

(おすそ分けや、お出かけした折のちよつとしたお土産を戴いても嬉しいものですが、当たり前すぎる句になりました。そこで細かい気持ちを具体的に、例えば ありがたい励ましあえる友がいる。)

* 腕時計こまかく刻むときの音

千恵

(アナログ時計の細かく刻む秒針の音が良いと付記あり。着想が時計の音に広がりました。それが刻む音ではなくて、ときの音と表現されたところが誌的でいいですね。今や懐かしい昭和の音です。)

* 上司でも重箱つつき居る職場

世雪

(世雪先生の飛び入り句です。良くも悪くも細かい事を云う人はいますよ。弁当は蓋に付いたまんま粒から食べよと言う話を思い出しました。昔は米粒一つでも無駄にしない習わしだったのですね。わらしべ長者の昔話あり。)

* 日本人細かい絵つけ見事だね

雅子

(絵画はともかく陶磁器にまで細密な絵を施す職人芸は日本人特有のものでしょうね。古伊万里がヨーロッパの富豪に珍重されたのも、この絵付けの見事さにあるのでしょう。)

* 愛をこめ細かくきざむギョウザの具

桐子

(愛が刻み込んである桐子さんのギョウザは、温かくて格別に美味しいこと間違いなし。おすそ分けまで考えて作られる気遣いが桐子さんらしいです。)

* ガチ校則あれじゃ子どもがかわいそう

憲郎

(戦前の厳しい校則には、自由を故意に拘束する全体主義の側面があると勘繰りたくなります。教育の場ですので難しい問題です。最近では、褒めて育てよ の一辺倒にも当然の疑問が寄せられています。)

* 細かい仕上げまでしていらぬ世話

英代

(家の補修工事の際に望まぬ外灯まで塗装されてしまったとのこと。本当のありがた迷惑。)

* みじん切り機械で切ってハンバーグ

洋子

(手抜きではありません。流行りのタイパ(時間の効率化)です。味は満点。)

* 針を刺す細かな手縫い孫の服

貴美子

(折角の孫の服ですので、愛込めて細かに手縫い孫の服。針を刺す行為は、手縫いで分かりますので孫への気持ちも詠み込みましょう。)

* がん保険やつかいものよ約款も(詳しく、文も堅くてとても読み通せません。)

早苗

* 重箱の隅まで届くいやなやつ(これも今やバラハラです。)

てるみ

* 値段より命大事と虫メガネ(値段も嘘を言うようになりました。私もハズキルーペ使用中) 隆子

* ミスターはグリップの位置確かめる(長嶋選手のルーチンですね。一朗は肩摘み。)

世雪

* 値上がりで細かく切って多く見せ(面白い、これも主婦の知恵。店の刺身の薄いこと。)

まさひろ

* デカイのに細かい心おどろいた(お相撲さんでしょう。気は優しく力持ち。)

雅子

* 太い敵ころりころがす大相撲(小よく大を制す。これが相撲のだいご味。)

和博

* 子の時と違いおおらか孫育て(婆ちゃん好きと言われたくて。)

蓼

* ランチ代一桁までも割り勘に(現金払いなら幹事さんはおつりが面倒で大変。)

せいこ

* マイペースしのごの言うなあるがまま(小股の切れ上がった啖呵。小気味よい。)

洋子

* ボランティア細かな心被災地に(ボランティアの活躍には頭が下がります。人間万歳。)

展行

* 氷彫刻 超絶技巧 息を呑む(作る人はコックさん達とか。調理人は芸術家。)

憲郎

* 針の目に糸を通しああじれつたい(忍耐力が問われていますよ。)

桐子

* 細かいこのおもてなし笑顔出る(風呂上り出したビールに笑顔出る。具体的に。)

英代

* 細々こまごまとうるさく言われ背中へエー(上手いストレス解消法。さすが。)

しずこ

* 細やかさもいきすぎはダメホドホドに（過ぎたるはベタベタ感。）

遊位子

* メガネする糸は乱れる針通し（老いが進むとメガネかけてもままならず。）

貴美子

* まな板に今日の反省きざみ込み（真に迫った反省です。上手い句）

伸子

* 躰には細かい愛をそそぎたい（子の躰できない分は犬にする。）

まゆみ

* お互いにこまかいことは無しにして

千恵

（夫婦の間でも、細かい事にこだわると、けんかの原因になりますと付記あり。夫婦の間だけではなく、普段の付き合いでも心したいことです。締めめの句に戴きます。）

全く私には分からない句（「らくだ忌」題一回川柳大会作品集より）無断拝借です。

題「水」

* 防水ではない手紙のくぐる虹

北蘭志柳

* いたずらな炭酸水と手をつなぐ

森井克子

* みみみみずラクダ雲のひとつ

銀次

* 水（だけで道に全史を描く）加減

西脇祥貴

* 抜歯するこれから水を産むために

千春

特選句

* 水はけの悪い幽体離脱です

山田ゆみ葉

軸（選者の句）

* 水捨て場から累々とらくだの巢

兵頭全郎

川柳は一読明快がよいと思っていたのですが、こんな川柳作家たちもいらっしやって、現代川柳と呼んでいる様です。どう解釈、鑑賞していいのか私は手も足もでません。詩の感性が無いためかなあと思っています。皆さんは如何ですか。こうゆう意味ではないかと鑑賞できる方の意見を聞きたいものです。

以上

文責 さとう六郎 (電) 096-384-3090